

猿沢・塩野町小学校 統合合同検討会会議録（要旨）

【H28. 8. 2 村上市総合文化会館】

参集者：29名

小学校保護者13名、保育園保護者1名、集落区長12名、学校3名

- ・開会
- ・教育長あいさつ
- ・これまでの経過等説明
- ・質疑応答～検討

- 教委 猿沢小学校での検討会の折、教育委員会案をたたき台として出してほしいというご意見をいただき、事務局案として以前の高南・高根小学校の統合と同じように、両校をいったん閉校したうえ、再スタートできないかと提案したい。
- 参加者 高南・高根小学校の統合のいきさつはどうだったのか。
- 教委 平成8年に両校の校舎老朽化と、高根小学校の複式解消を合わせた形で統合の話が出て、高南小学校跡地に校舎の改築も進められ、平成12年に統合され朝日みどり小学校が開校したと理解しております。
- 参加者 7年先の児童数を見ての今回の統合ということであるが、その先を考えて将来的には朝日地区1校という計画が必要ではないか。
- 教委 現時点の複式学級をそのままにしたり、20人以下の小規模状態では子どもたちが切磋琢磨して成長する望ましい教育が難しいものと考えている。また朝日地区を1校にすることは現時点では校舎増築等で難しいと考える。
- 参加者 保育園は来年度で統合し、小学校はその後にということ子どもも不安を持っている。今回の計画は先を見た取り組みが無く場当たりのなのではないか。ちょうど統合にあたった6年生はかわいそう。
- 教委 他の学校でも同じような意見が出されたが、どこかで区切られ、統合が行われることから、学年によって影響はどこかで必ず出る。トータルで考えてほしい。
- 参加者 市行政は先々を見据えていかなければならない。もっと先、数年後を見て5校を1校に統合を考えてはどうか。
- 教委 33年に朝日地区を1校にしたとすると、保内小と同じ規模で各学年2クラスと、教室は倍必要となる。今そういった計画もない中で財政的にも難しい。
- 参加者 今複式であっても少し先を見た中で、将来の10年先も見越して統合を考えるべきでは。統廃合を繰り返すべきではない。
- 教委 今現在7年後の先は分からないわけであり、今、複式、少人数であることは子どもたちのために望ましくないもので、早急に解消しなければならないということで、先の検討会で同意を得たということで今回のぞんではいる。
- 参加者 少人数は何が悪いのか、丁寧で行き届いた教育なのでは。
- 教委 小規模校のメリット、デメリットを比べると同じではない。デメリットの方が大きいと考える。国も県も子どもたちにとっては、少人数より多く子どもたちとかかわることの方が望ましいと示している。特に複式は2つの違う学年が1つのクラスで学習していることは、決して望ましいものではないと考える。
- 参加者 どうしても規定人数より足りない複式にしなければならないのか。法律で決まっているのか。
- 教委 法律で決まっており、致し方ないのです。

参加者 今塩野町では複式になっているがもっと早く計画できなかつたのか。いつから教育委員会では取り組んできたのか。人口の減少は明らかだったわけで、そのようなことが繰り返さないようこの統合は先に延ばして、5校を1校にした方がよいのでは。

教委 財政上からも5校を1校をするため校舎を増築することは無理と考える。望ましい検討委員会で2年前から検討していただき、その結果今の計画方針が策定されて進めている。ご理解をいただきたい。

参加者 出生率の減少は確定的なことなのでは、国の統計からも予想されるのではないか。

教委 児童数の減少につきましては皆様が理解していることであるが、これからの子どもたちにとって望ましい学校のありようということで、先ほど提案させていただいたように両校を閉校して、新たな学校としてスタートということに対していかがか。

参加者 統合した時点からまた新たな統合に向けた検討を行うということか。

教委 そのようなことは考えておりません。

参加者 また場当たりのになるのでは。

教委 思いつきでこの統合を計画をしたわけではなく、2年間かけて検討委員会で話し合われてきたものである。ここでそれも振り出しに戻されては、子どもたちにとって望ましくない環境状態が継続することになる。なお将来において、児童数の推移状況が把握された時点では、また検討しなければならないとは理解している。

参加者 朝日みどり小学校の統合でよかったところは。

教委 一番良かったと思われることは、子どもらにとっては、保育園と中学校が統合されていたのに小学校でまた少人数に戻ることがあったところが解消されたことのようにである。当然交友関係も広がって、それがその後も続いていると理解している。

※ 使用校舎について比較説明

参加者 教育委員会としては検討し、案があるか。

教委 建築年数等から猿沢小学校の方が新しいということも含めて、総合的にどちらかといえば望ましいのではと考える。

参加者 子どもたちの環境の変化への対応は必要でないか。

教委 スムーズな統合のため、子どもたちの交流学習等が行われるようとり図っていきたい。

参加者 今すぐにどの校舎を使うか決めなければならないのか。両校を使った中で子どもたちに選ばせることは出来ないか。

教委 アンケートについてもそうでしたが、やはり子どもの環境を考えるのは大人たちと考えております。

参加者 地域を考えると、保育園は猿沢の予定、それじゃ小学校は塩野町小学校を使ってほしいと考えている。

参加者 各自に聞いても誰もが自分の所がいいと考えている。その意味からも教育委員会は具体的な学校運営全体として、こうしたいと進めるべきでないか。

教委 いろいろな意見がある中で、大所高所的に合意を得られればと考えて意見を伺っている。

参加者 人数も少ない、この場での決定は無理ではないか。

教委 保護者全員にはご案内させていただきましたし、このような状況を見ても今一度全員というのは難しいと考える。

- 参加者 全て今日判断するというのではなく、委員会等での決定ではないのか。
- ※ 統合検討スケジュール（案）について説明
- 参加者 今回の合同検討会の案内文が分かりづらかったのでは。
- 教委 前回の各学校では今回の検討会について説明し、確認されたと思っていたが、案内文の説明不足の点はお詫びしたい。
- 参加者 保育園からの案内で参加したが、今回の会がこういう会であることは理解できた。ここに参加していない方は委任されたということで、これからまた皆さんを集めるとかではなく、ある程度のものは作っていただき進めた方がよいのでは。
- 教委 少ない人数であったかもしれませんが、今回の会では統合に向けた形態については合意が図られましたが、校舎については猿沢小学校という案を出させていただいたが、まだ合意には至っていないと考えます。
- 参加者 統合の形態についても両PTA会員への周知が必要なのではないかと。PTA会員の意見集約が必要なのでは。
- 教委 統合形態については難しいことであると判断し、冒頭に対等だと提案させていただいた。これから改めて摺合せとは考えていない、ご判断願えないか。
- 参加者 猿沢小学校PTAとして説明等に時間が必要なのでは考えた。
- 教委 前回の検討会からこれまで2ヶ月近い時間があったので、そこで話し合われたと考えていた。
- 参加者 どちらかの学校で折り合いをつけなければとは思っていたが、具体的な統合に向けて今一度PTAで話し合いを行い、それを報告するようにはいかないか。
- 参加者 猿沢小学校の7月のPTAで30名程集まったとき、対等統合でという話はさせていただいたが、特に異論はなかった。
- 教委 塩野町の方の検討会から今日までの経緯はどうか。
- 参加者 検討会の報告は書面にて全員にお知らせした。今回の案内は約1か月前に通知した。告知端末でも全世帯に行った。
- 参加者 全てをここで決めていいのかということもあり、統合推進委員会で決めたらどうか。子どもたちのことを考えたら統合は必要と考えているし、校舎をどうするか等は委員会で決めたらと考える。
- 参加者 教育委員会は校名も案をもっているのか。
- 教委 そこについては今後の話し合いでと考える。
- 教委 対等の統合は合意したということで、今後統合推進委員会の設置前に、また各代表者による合同検討会を開かせていただき、その中で校舎、校歌の基本事項について検討を進めて行くということよろしいか。

出席者了解する

- ・閉会